

壁灯の作り方 (QT4811 壁灯キットの使い方)



《キットに含まれているもの＝写真左から》

- ☆12V 用電球 (アーム部分の加工をしたもの)
- ☆シェード (白いプラスチック製)
- ☆座金 (しんちゅう製)
- ☆台座 (プラスチック製)
- ☆台座補強用のウッドビーズ
- ☆延長コード (1m)
- ☆収縮チューブ 4 個 (うち 2 個は予備)

《自分で用意するもの》

- ★ エポキシ接着剤または多用途接着剤 (スーパーX など)
- ★ 塗料 (アーム着色用＝金色またはしんちゅう色)

《作り方》 キットのパーツは写真(4)の段階まで仮組みしてあります。

<p>(1) 電球のコードをシェードの孔に通します。アームも全部通して下さい。アーム部分には真ちゅうの芯線が入っています。</p>	<p>(2) 電球ができるだけシェードの奥に収まるようにします。奥まで入らないときはシェード孔を少し広げて下さい。</p>	<p>(3) 座金を通しシェードの後部に付けます。この段階ではまだ接着しません(接着するのは(6)の後です)。</p>	<p>(4) 最後に台座とウッドビーズを通します。キットを購入された場合はこの段階までパーツを仮組みしてあります。</p>
<p>(5) ペンの軸などを利用してアームを curve、適当な形にします。真ちゅうの芯線が入っているので自由に曲げることができます。</p>	<p>(6) アームの形状を決めシェード、座金、台座、ウッドビーズを接着固定します。この壁灯の作例は下向きですが上向きにすることも可能です。台座裏のウッドビーズは(7)を参照して固定してください。</p>	<p>(7) 台座の裏側。ウッドビーズをこのように接着しアームの終端と一緒に固定するとアームが安定します。</p>	<p>(8) 12V の電源につなぐと点灯します。コードを延長する場合はつなぎ目に収縮チューブをかぶせ、ろうそくなどでチューブに熱を当てて密着させます。やけどや事故を起こさないよう注意してください。</p>

《使用上の注意》

1. ミニチュアライトはおもちゃではありません。使い方を誤るとケガや火災などの事故の原因となります。
2. 使用している電球は 12V 用で使用電流は 50mA です。
3. 電源は 12V 用 AC アダプターを使ってください。安定化回路内蔵型のもをおすすめします。
4. 点灯中に衝撃を与えると電球の寿命が大変短くなります。動かしたりするときは必ず電源を切ってください。
5. 電球の点灯中は必ず誰かそばについていてください。夜中や人がいない時に電球を点灯したままにすることはやめてください。使用しないときは電源を切ってください。
6. 電球は点灯中高温になります。直接触らないでください。紙や布などの燃えやすいものが電球に接触しないようにしてください。

106-0047 東京都港区南麻布 5-2-24-1D ワークショップ・クォーター

TEL/FAX 03-3449-8879

Homepage (ミニチュアライトの世界) <http://mini-light.jp>